

今号の主な記事

- 職員の福利厚生制度の見直し2面
- 保育所運営法人等を募集2面
- 「西宮市津波防災マップ」を配布3面
- 市民文化祭の参加団体を募る6面
- 夏のイベントカレンダー8面

7月22日オープン 環境学習サポートセンター

淡水魚に会える「ミニミニ水族館」併設



仁川の生き物ウォッチング

本市は、全国で初めて環境学習都市宣言を行い、環境学習を通じた持続可能なまちづくりを進めています。このたび、甲子園浜自然環境センター、甲山自然環境センターにつづく環境学習の新しい拠点施設として、「西宮市環境学習サポートセンター」が7月22日にオープンします。

同サポートセンターは、市内の河川や水路に生息する淡水魚など約20種類の生き物を「ミニミニ水族館」として水槽展示するなど、おもに川(水辺)の自然を学習する拠点施設として開設し、地域・学校・事業所などにおける環境学習活動

をサポートします。また、市民・事業所の皆さんが取り組んでいる環境活動の情報交流の場として、幅広い世代の皆さんに利用してもらい、地域に根ざしたエココミュニティづくりを進めます。

問合せは環境都市推進グループ(0798・35・3821)へ。同サポートセンターの開館にともない、環境学習ルーム(市役所江上庁舎1階)は7月15日で閉館します。

甲子園浜自然環境センターに河口部などにすむ魚類の水槽展示コーナーを7月10日に開設します(開館日は火曜・日曜の午前9時~午後5時)

市長からのメッセージ



西宮市長 山田 知

西宮市の魅力は、何と云っても山、川、海といった自然環境に恵まれていることです。平成15年12月に環境学習都市宣言を行った際、小学生から高校生までの子どもたちに「20年後の西宮をテーマに環境作文を募集しまし

た。ごみの捨てられていない水のきれいな川、そして泳げる海を子どもたちは求めています。こうした子どもたちの願いを実現していくため、「海」の活動拠点として甲子園浜自然環境センターや西宮市貝類館を、「山」の活動拠点として甲山自然の家、甲山自然学習館、キャンプ場を中心とした甲山自然環境センターや北山緑化植物園を位置付け、整備してまいりました。

このたび、新たに設置した環境学習サポートセンターは、市内の河川などの水辺の自然を学び保全していく「川」の活動拠点として、また地域のエココミュニティ活動やホームページ、エココミュニティ情報掲示板の情報発信、環境学習活動などへのサポート拠点として運営してまいります。環境学習を通じた持続可能なまちづくりは、市民の皆さん一人ひとりの日常的な活動の積み重ねが大切になります。こうした環境学習施設を、地域の皆さんなどで大いに活用ください。

「西宮市政ニュース」は、4月からすべての世帯と事業所のポストへ、発行日前日と当日にかけて宅配でお届けしています。発行日を過ぎて届かない場合は、下記へご連絡ください。

西宮市シルバー人材センター
フリーダイヤル
☎ 0120・72・4833
受付：午前9時～午後6時
宅配日以外の土・日曜、祝日は休業

- #### サポート内容
- 市民団体や環境ボランティアの交流の場の提供
 - 環境情報等が検索できる「エココミュニティ情報掲示板」の運営(右下参照)
 - 小学生を対象にしたEWCエコカード活動や中学生以上を対象にしたエコアクションカード活動の事務局の設置

地域の環境活動をサポート

- 環境学習をサポート
 - 学校やPTA、各地域団体、事業者が行う環境学習の企画等についてのアドバイスをを行う学習相談コーナーの設置
 - イベント情報などを提供する情報提供コーナー、設置
- 水辺の自然学習をサポート
 - 環境に関する図書をそろえた図書閲覧コーナーの設置
 - ミニミニ水族館の設置
 - 啓発パネル、水辺の自然に関する図書コーナーの設置
- 環境学習をエココミュニティ情報掲示板市のホームページ(アドレスはページ下参照)の「アウトライン西宮」の中の「環境活動」からご覧ください。

